

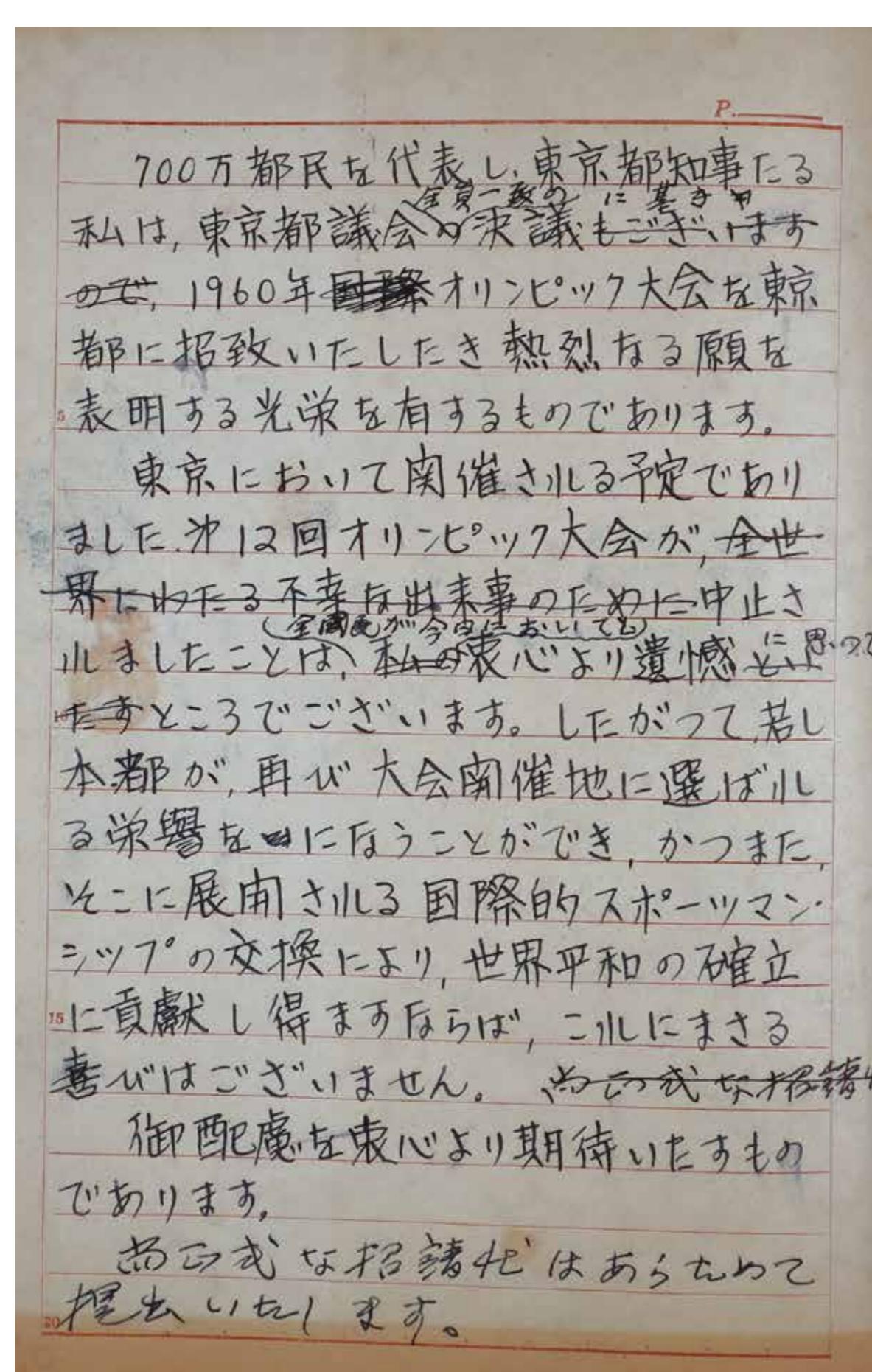
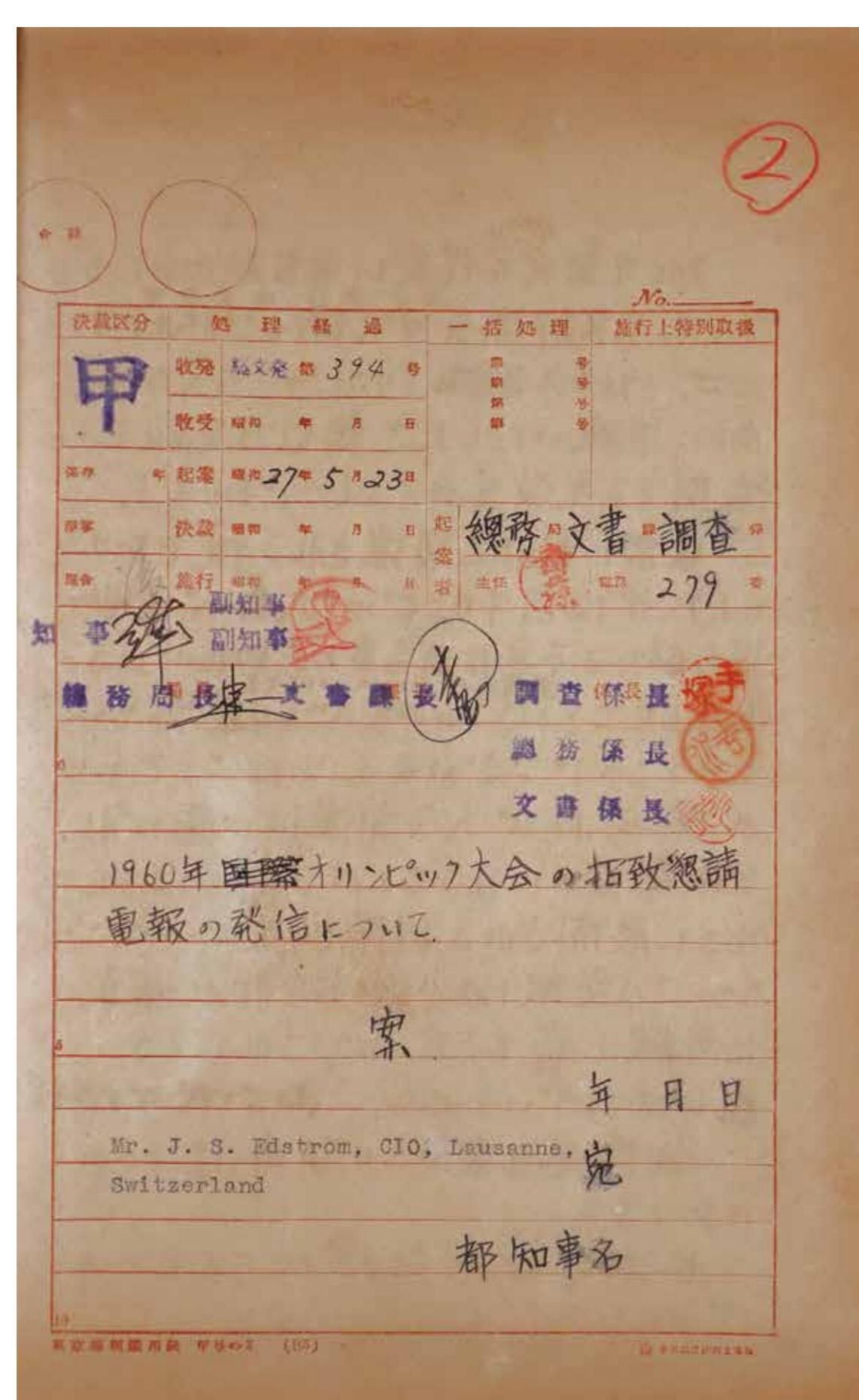
オリンピック招致の原点

－『オリムピック関係綴』1952年

前回の東京オリンピック開催は1964年でしたが、そのまた1つ前に当たる1960年大会の開催にも、東京都は立候補していました。このすっかり変色した起案文書こそこの時の招致に関わる最初の公文書です。達筆な署名をしているのは安井誠一郎都知事で、この字は「誠」と書かれています。

注目したいのは起案日で、昭和27年(1952)5月23日とあります。同年4月28日、日本と連合国との間で太平洋戦争開始以来の戦争状態を終結させるため結ばれたサンフランシスコ講和条約が発効してから、1カ月にも満たない中でのオリンピック招致表明でした。

「国際的スポーツマンシップの交換により、世界平和の確立に貢献」と訴える文案からは、独立国家として平和的な国際社会への復帰を希求する思いが伝わってきます。



「1960年オリンピック大会の招致懇請電報の発信について」

昭和27年(1952)『オリムピック関係綴』